



新しくスタートした新生津山市。11万人都市として、豊かな生活を実感できる都市に向かってその第一歩を踏み出しました。これまで、それぞれがはぐくんできた歴史や文化、伝統を大切にしながらも、地域同士の連携・融和のうえにさらに新しい歴史や文化、都市機能を創造していきます。そして、市民一人ひとりがこの新生津山市を誇れるよう、新しいまちづくりに取り組んでいきましょう。



藤原 歆子さん
(美作大学・福祉環境デザイン学科2年)

合 併して津山市もエリアが広がるので、交通の充実は多くのの人にとって大切なことと感じています。
現在、大学では福祉の立場から津山のまちがどうしたら良くなるかも勉強しています。障害の有無にかかわらず、誰もが快適に過ごせるまちが理想です。福祉の視点を活かして、より良い津山になるように私も取り組みたいと思っています。

私が願う新生津山市



柴田 詳子さん
(美作大学・食物学科3年)

津 山は自然に恵まれ落ち着いた城下町。これからもこの良さを大切にしていきたいです。夏のごんごまつりには役員で参加しました。合併後は、このようなイベントも大勢の人で盛大なることを期待しています。
また、食物学科で勉強をしています。地元の食材や特産品、郷土料理を大切に守っていききたいです。子どもたちにも食材を通して自分の育った地域を知ってほしいし、そのような取り組みをしたいと思っています。

ともに歩んできた5つの地域が1つになり、今までになかった新しい生活圏ができることに大きな期待をしています。新生津山市のまちづくりは、新市建設計画がすべてをあらわしていると思います。この計画が夢物語にならないように必ず実現されることをお願いします。とくに子育て・交通・環境・産業の施策は、安心して暮らせる生活基盤。これらの実現のためにも市民総参加のまちづくりが必要です。新市は11万市民の財産。この機会にまちづくりの原点を見つめ直し、みんなで「人と自然が活きるまち」を実現させ「住んでいて良かった」と実感できるふるさと津山を実現させましょう。新しい気持ちでともにがんばりましょう。



金田 稔久さん(八社)

久米 地域からメッセージ

遊びに
おんちやい



久米市民プール

久米市民プールでは、年間を通じて温水プールやトレーニングルームで健康増進、体力づくりができます。夏のウォータースライダーや流水プールは、子どもたちにも大人気です。